

整理No. 2018-50		労働災害状況調査表			
発生会社 事業所					
災害発生日時		2017年 12月 5日(水) 14時 00分頃 天候(雨) 温度(7℃) 湿度(39%)			
災害区分		不休災害 休業災害(休業: 一日)			
被災者	部門	広島営業所		雇用形態 正社員、派遣(契約、その他())	
	年齢	30歳	性別: (男) 女	勤続年数 3.3年	経験年数 3.3年
	傷病名	裂傷			
	傷病部位	眉間より少し右側から縦に			
災害発生状況	作業者は、倉庫内で、ラック2段目から、石油缶をピックアップしていた。		状況概略(写真orイラスト) 		
	石油缶を持っていた手が滑り、降ろそうとした石油缶が倒れ、顔面に接触、裂傷を負った。				
災害の型 ^{※1} : 4(落下)、9(動作の反動、無理な動作)		作業の形態: 定常・非常・その他()			
起因物 : 石油缶(製品)		特記事項:			
原因分類	1.人的要因(man) 別作業が残っている焦りがあり、取っ手を持たず、作業を簡略化してしまった。				
	2.物に関する要因(machine) フォークリフトを使用しなかった。				
	3.環境要因(media) 頭より高い位置だが、手の届く範囲の高さに製品が保管されている。				
	4.管理的要因(management)				
対策	(暫定処置)・当日、労災発生状況を本社へ連絡し、是正策について類似参考事例の有無等相談。				
	(再教育:ルール of 徹底①)・製品ラック2段目以上は必ずフォークリフトを使用する。				
	(再教育:ルール of 徹底②)・製品の取っ手以外の場所を持ち、持ち運びしないこと。				
	(現場掲示)・上記①内容に付き、製品ラックへ掲示を実施。				
(保管位置変更)・頻度の高いものを1段目、低くなるに連れ2段目、3段目に配置換え実施。					
対策分類 ^{※2} : 1-1、1-6、2-4、1-5					

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)

